

走る昴



クリックしていただいた絵は「走る昴」です。
設立直後の増子記念病院忘年会で、「昴」のスタッフは
共通デザインのTシャツで決めました。
そのとき、背中にしゅったのがこの絵です。

もちろんオリジナル作品です。

オリオンとアルデバランと「昴」

オリオン座



おうし座の右目



おうし座の左肩先



冬の夜空で昴を探すのは、オリオン座が目安です。
オリオンの左肩右斜め上に真赤な一等星アルデバランが、
そのほぼ延長線上にすばるを認めます。

増子クリニック 昴 という名称



★「すばる」は「統ぼる(すまる)」

勾玉や管玉を糸に通して首飾りにする(小さいものをまとめること)を言い、

古事記では「美須麻流玉(みすまるのたま)」、

万葉集で「須売流玉(すまるのたま)」、

日本紀竟宴和歌で「儒波奪玉(すばるのたま)」などと記録されています。

★そこで、当院は、2つの透析サテライトを一つにまとめたため、
この名称(昴)を用いました。

★「すばる」は「さ(ん)ざめく」

「嗚呼さんざめく名もなき星たちよ」

「オリオン舞い立ち すばるはさざめく」

と歌われるように、みんなが集まっておしゃべりをしている様子を連想させ、
増子クリニック 昴もみんなでさんざめきながら運営をと考えました。



文学・随筆・伝承・俚諺の中の昴



枕草子第236段 <清少納言>



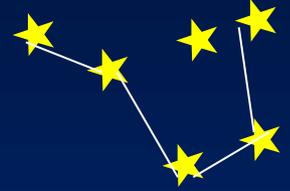
「春はあけぼの」で有名な枕草子で、清少納言は「昴」について星の中で一番と言っている。

星は昴(すばる). 牽牛星(ひこぼし). 大白星(ゆふづつ). よばひ星, すこしおかし. 尾だになからましかば, まいて.

星は「昴」が最高. ひこ星や宵の明星もいゝけどね.
流れ星もまあまあだけどしっぽがなければもっといゝのに

(桃尻語訳)

源順 編 倭名類聚抄 天部第一 景宿類第一 「星」



明星(あかほし) 長庚(ゆふつつ) 牽牛(ひこぼし)
織女(たなばたつめ) 流星(よばいぼし)
彗星(ははきぼし) **昴星(すばるほし)**

宿耀經云**昴星**六星火星也 和名**須八流**

野尻抱影 星の方言集 日本の星

清少納言が枕草子で挙げた星は、数十年前に書かれたこの書の中にある。…当時、広く流布していた名前のある星はこれがほとんどであったと考えるものか？

むいかぶし(群星)ユンター-1



宮良當壯著 八重山古謡

天の主前(天上の大王)から、南の七つ星(星宿?)
が下界を統べ治めよと命じられると、否と答へたため
に、南陬に追ひ遣られ、北の七つ星(北斗)も同様にし
て北隅に追ひ遣られてしまひ、ひと**い昂星**のみは大命
を拜受したがために、天の中央を行く。

そして農民は、**昂星**を觀て播種植付をすると云ふ歌

むいかぶしユンター-2



宮良當壯訳 八重山古謡

ムリカ星 星どヨー
天ヌア一千前から
島ウタイテ ヌチャラ
國ウタイテ ヌチャラ
ウーフテ承キダル故ど
ウーフテ承キダル因ど
島ヌ真上カラ 通ユンドー
天ヌ中 通ユンドー
物作る シーユラバ
ムリカ星 ヌ 見當てシー

スバルという星は
天のあるじ(天帝)の御前から
島を統べよと云われたら
國を治めよと云われたら
畏まりましたと申し上げたために
ハイとお答えしたために
島の真上を通います
天の真中を通います
農作をする時には
スバルを當てにしよう

野尻抱影 星の方言集 日本の星 よい

昴星讚仰



比叡山の方からあらわれて来た馭者座の主星がきらきらして更けゆく空の単調を破るかと思ふと、東山の上をかないのぼってお待兼ねの**七つ星**らしい一むれが見えそめる。

もしや眼の迷ひではないかと疑われるばかり最初はちらついてはっきいとほそれと定めがたい。

舞子の花かんざしの銀のぴらぴらか、天女の瓔珞のゆらぎかと、暫しはかはゆらしさに気を取られる。「澄んだ闇の空をのぼって来て、**銀糸にからみつけた蛍のひとむれのやうにちらつく**」とテニスンが形容したその**スバル**を今夜見つけたのだ。ほんに**銀の蛍籠を高く夜の空に吊るした様に見える**。

新村出 昴星讚仰 南蛮更紗

関東震災の夜に東京の空で見たすばる星



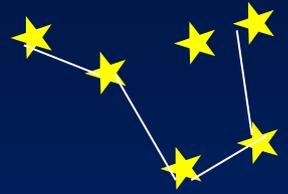
九月一日の夜更けで、全東京を舐めた業火もよほど鎮まっていたが、赤く爛れた火雲が、天頂の近くまで大山のように盛り上がっていて、その反照で、真っ暗な郊外でおびえている人たちが、互いの顔を見合すことが出来るほどだった。

何年生きていてもこんな凄愴な、悪夢のような光景を見られるものではないとは、誰でも考えたことである。私は余震にふるえる門際にたって、永い間その火雲を眺めていた。それはゆっくりではあるが絶えず貌を変えていた。その中にある一角が、月光を浴びた氷山の断崖を想わすような姿と光に変わった。火に映えているとは思えない冷たい青い光だった。

するとそこの雲から、にわかに一団の星が吐き出された。ひとめですばる星だとわかったが、六つの星の一つ一つが火雲のいきれで妖しいまでにきらきら光り、かつ雲の動く錯覚から一方へ流れているように見えた。私は後にも先にも、あんな美しいそして無気味なすばる星を見たことが無い。

野尻抱影 東京の星 日本の名随筆別巻16 藤井 旭編

おもろ(神歌)



伊波普猷著 「古琉球」

えけ あがる ミカ千千や
えけ 神ぎゃ かなまゆみ
えけ あがる アカボシや
えけ 神ぎゃ かなままき
えけ あがる **ボシボシ**や
えけ 神が **さしくせ**
えけ あがる のちくもは
えけ 神が まなききおび

あれ 天なる 三日月は
あれ 御神の 金真弓
あれ 天なる 明星は
あれ 御神の 金鏃(やじい)
あれ 天なる **群星**は
あれ 御神の **花櫛**
あれ 天なる 横雲は
あれ 御神の 白布帯

北原白秋と昴

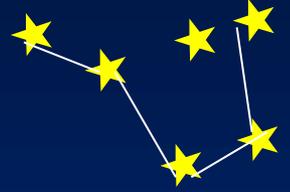


北原白秋 「宵」

出たよ草星, おらちゃんと見てた
背戸のよこっちょの川岸に.

野尻抱影 星の方言集 日本の星
すばる・すまる(昴)フレジャーテス星団

与謝野晶子と昴



天界の七少女とは思はねど

星かと思ゆる銀のたけなが

(与謝野晶子)

新村出 昴星讃仰 南蛮更紗



★ 前大納言爲家 ひろき空にも**すばる星**かな
西行法師 ふかき海にかがまる海老のあるからに
太田南畝 一話一言 反古さらへ
野尻抱影 星の方言集 日本の星

★ 月は東に**昴**は西に いとし殿御は真中に(丹波茶摘歌)
尻ほそなほたるの影や**すばるぼし**(王海集)
新村 出 昴星讃仰 南蛮更紗

★ 天の**フレフシ(すばる)**数(よ)まれても、親のよせごと(教訓)や
数(よ)まらぬ。 沖縄俚諺

★ なんじ**昴宿**のくさいを結び得るや、参宿のつなぎを解き得るや。
聖書・ヨブ記

参宿:オリオン座の三ツ星

野尻抱影著 星と伝説(中公文庫)

昴は日和見星



★ すばるまん時粉八合

すばるが午時(うま時:南中する時:二百十日前後)に蕎麦一升を播くと、粉が八合とれる。

信濃俚諺 新村出著 南蛮更紗

★ 日は短、星は昴、以って仲冬を正す。

昴が初昏に南中するときを冬至とする。

書経:世界を通じてこの星団に関する最古の文献

★ 十月の風をホシノイリゴチといふ。この星はスバルをいふ。

九月の節より正月の節中にはスバル星の出入りにヒヨリ変わり易し。

俚言集覧:江戸時代

★ 星 すまると云星を見る也。月の出入りに日和易(かわ)らねども、

すまるとのいるに替わるは日和損ずる也。殊に秋冬は、

すまるとの入るを専らに見る也。

野鳥家伝巻五 伊予水軍

野尻抱影著 星と伝説(中公文庫)



こんな呼び名も全部 **昴**





- ★ わが国では、「すばる」のほか、**六連星(六つら星)**、**羽子板星**、**ごちゃごちゃ星**、**かじ星**、**つと星**、**ます星**などと呼ばれている。
- ★ **目ためし(試しの)星**：「すばる」にはオペラグラスでもみても数え切れないほどの星が存在する。そこで肉眼でいくつの星が数えられるかで、目のよさを競ったとされている。**昴が七つ星**とも言われる所以である。
- ★ 西洋では**プリアデス(Pleiades星団M45)**
ストーリーのオリオンに追われ、天に逃れた**プリアデスの7人姉妹**
今でも暴れ者オリオンに追われ、逃げ続けているという星座上の配置
- ★ 中国では**プリアデス星団**は**昴宿**。日本でもこの「**昴**」の字を充てた。
- ★ 奈良時代に成立したとされる『丹後風土記』逸文に「其七豎子者(**七人の童子**)、**昴星也**」と記されているとされている。
- ★ ただ、日本で**プリアデス星団**について言及した最古の記録は、平安時代に醍醐天皇皇女勤子内親王の命で作成された百科事典『倭名類聚抄』だと考えられている。この中で、**昴星**の和名は**須八流**と記されている。

参考図書 藤井 旭 著

星座大全 冬の星座(作品社)

星座・天体観察図鑑(成美堂出版)



野尻抱影著 星と伝説(中公文庫)

- 01. アルワン・ノクウ(なまけ星):アイヌ→末岡外美夫収集
- 02. イワン(六つ)・リコッフ(星):江戸文化年間:蝦夷方言藻汐草:最上徳内著
- 03. マタリキ(小さい目):もと大きな星であったのが砕かれた : 南洋諸島
- 04. ビンタン・フルフル(数十の星) : 南洋諸島

スバルは小さなものを統まることから来ているといわれて来ましたが、大きな星が砕かれて小さな星になったと言う南洋の名前は、まったく逆の考えで、楽しいではありませんか。(山崎)



昴 雜学



「昴」 雑学1



- ★ YAHOO検索で「**すばる**」をクリックすると、
33,289件がヒットする。
- ★ ハワイの国立天文台望遠鏡, 360CCで名をは
せた自動車メーカー(もちろんマークは6連星:昴を
デザイン), 文学雑誌など。
- ★ 憧れの寝台特急トワイライトエクスプレスの食堂
車の名前も**PLEIADES(すばる)**。